

「南多摩 尾根幹線沿道の将来イメージ」について

【テーマ】多摩市に「道の駅」（仮称：モミジバフウの郷）をつくれ

〈狙い〉

尾根幹線を往来する龐大な数の自動車（特に土曜・日曜）と多摩センターを訪れる多数の人々（サンリオピューロランドを訪れる外国人なども含む）を「道の駅」に誘致することにより、福祉・防災政策も兼ねた新しいパワー・スポットを創出する。

〈基本構想〉

- 1) 候補地： 上之根大通に隣接する「豊ヶ丘 南公園」を「道の駅」に改造。
- 2) 駐車場： 100 台程度（他にバス 3 台分）の駐車スペース。
- 3) 公共トイレ： 最新の設備を備えた多人数対応型のトイレを設置。
- 4) 建 物： 2階建て（1 階；売 店 2 階；レストラン・カフェ・集会室など）。
- 5) 販売物： ①多摩産の農産物 ②郷土菓子 ③ 多摩産の酒類 ④郷土小物類・食品
⑤草花・苗木・ガーデニング用品など（売上金は運営資金に充当）。
- 6) 催 事： 多摩市が誇る街路樹（例えば、上之根大通では秋空に紅く映えるモミジバフウ並木、メタセコイア通では雄大なメタセコイア並木など）を活かした「季節のお祭り」を企画し、多摩センターと道の駅間にサンリオピューロランドとも連携して、シャトル・バスを運行。
- 7) 運 営： 多摩地域在住の障がい者・高齢者なども多数採用し、障がい者・高齢者などの安定した働き場所にすると共に市の福祉関連施設としてもアピール。
また、可能ならば地元拠点のある企業（サンリオピューロランド、KDDI、長谷工など）の協賛を得て運営。
- 8) 防 災： 直下型大地震などの非常時には、駐車場・建物などを市の防災拠点とし、また、敷地内には最新型の井戸を 2 か所設置。

以 上